

企業情報

- 会社概要 >>
- 会社の沿革 >
- 主要納入先 国内納入先 >
- 主要納入先 海外納入先 >
- 国内・海外拠点 >>
- 国内拠点 >
- 海外拠点 >
- 採用情報 >>
- 新卒採用 >
- 新卒新入社員の声 >
- 中途採用情報 >
- クラブ活動 >
- アクセス >>
- 品質方針・環境方針 >>

会社の沿革

2009年	1月：富士通オートメーション(株)を当社の完全子会社化 1月：子会社 富士通オートメーション(株)の商号をミヤチシステムズ(株)に変更
2008年	10月：ミヤチ先端加工技術フォーラム開催 8月：ファイバレーザ加工機(ML-7320AU)を発売 7月：インド チェンナイにミヤチインディアを設立 6月：韓国のレーザ加工機メーカー「EO TECHNICS Co., Ltd.」と協業同意
2007年	12月：西日本サービスセンターにシステムラボを開設 11月：野田工場のクリーンルーム増設、最新鋭レーザ工場へ 7月：精密抵抗溶接機器の技術開発・製造を行う野田第二工場を新設 6月：盛岡に北東北営業所を開設 5月：霧島、高松に南九州、四国営業所を開設 4月：(株)セイワ製作所を事業統合、抵抗溶接事業本部を設立
2006年	11月：野田工場内に北関東営業所を設立 10月：金沢に北陸営業所を開設 8月：京都に京滋営業所を開設 5月：(株)セイワ製作所を子会社化 4月：長岡、浜松に新潟営業所、静岡営業所を開設 3月：松本、広島に甲信営業所、中四国営業所を開設 1月：国内初、ファイバレーザ溶接装置(ML-6300A)を開発
2005年	12月：本社機能を東京都 台東区に移転 9月：中国 大連市に米亜基貿易(上海)の大連営業所を開設 7月：タイ・バンコクにMiyachi(Thailand) Co., Ltdを設立 4月：ユニテックミヤチコーポレーションをミヤチユニテックコーポレーションに社名変更 3月：台北市中山区に台湾米亜基股份有限公司を設立 2月：ミヤチテクノスヨーロッパとペコウェルディングシステム社を合併し、ミヤチヨーロッパを設立
2004年	12月：営業本部(日暮里)、システム本部(田端)を東京本社として統合し、台東区元浅草2-6-6に移転 9月：エフ・エム・イー株式会社を完全子会社とする 7月：東北営業所、九州営業所開設 7月：欧州の孫会社ミヤチテクノスヨーロッパGmbHとペコウェルディングシステムズGmbHを直轄子会社とする 6月：資本金を14億9,909万円に増資 4月：東京証券取引所市場 第一部へ上場 1月：抵抗溶接機の中国強制認証(CCC)取得
2003年	8月：米国子会社 ユニテックミヤチインターナショナルLTD.を存続会社として、ユニテックミヤチコーポレーション、ダイレクテッドライトINC.、ユニテックベンチマークINCを吸収合併し、同時にユニテックミヤチコーポレーションと社名変更
2001年	9月：東京証券取引所市場 第二部へ上場 7月：米国ベンチマークインターナショナル社を買収 6月：中国上海市に米亜基光電設備(上海)有限公司を設立 1月：エフ・エム・イー株式会社を設立(富士電機と合併)
	9月：ISO14001認証取得 6月：メッサー・カッティング・ウェルディング社の抵抗溶接事業部門を買収し、ペコウェルディングシステム社を設立

2000年	7月：ユニテックミヤチコーポレーション、ダイレクテッドライトINC.、ペコ ウェルディングシステムズGmbH、ユニテックミヤチヨーロッパB.V. の持株会社ユニテックミヤチインターナショナルLTD.開設 1月：ミヤチプレジジョンシステムズ株式会社を設立
1999年	3月：生産体制強化のため本社工場を増設
1998年	5月：中国上海市に現地法人米亜基貿易(上海)を設立 1月：米国ダイレクテッドライトをユニテックミヤチを通じ買収
1997年	6月：日本証券業協会に店頭登録銘柄として株式公開。資本金を 11億7,918万円に増資
1996年	7月：ISO9001認証取得 5月：中国上海市に駐在員事務所を開設
1995年	10月：自己株式を消却し、資本金を8億5,319万円とする 9月：開発・レーザ機器生産体制強化のため、本社工場を増設 7月：ユニテックミヤチヨーロッパを設立、ウエルドイクイップグループを買収
1994年	10月：米国ユニテックとミヤチアメリカを合併し、ユニテックミヤチを設立
1993年	9月：資本金を10億8,115万円に増資
1992年	1月：レーザマーカ装置を開発、販売
1991年	4月：韓国に現地法人ミヤチ코리아を設立 2月：資本金を9億1,240万円に増資
1990年	9月：独国ビーテンハイムに現地法人ミヤチテクノスヨーロッパを設立 9月：資本金を5億3,240万円に増資 4月：宮地レーザシステム株式会社と合併し、商号を「ミヤチテクノス 株式会社」に変更
1989年	10月：中部営業所を名古屋市に移転し名古屋営業所を開設 5月：業界初、コンパクトYAGレーザ機器(ML-2220A)を開発、販売
1988年	10月：大阪市に大阪営業所を開設
1987年	10月：レーザ部門強化のため、宮地レーザシステム株式会社を設立 1月：米国オハイオ州に現地法人ミヤチアメリカを設立
1986年	6月：東京に営業本部/東京営業所を開設 4月：インバーター式溶接電源(IP型)を開発、販売
1985年	4月：本社・工場を増設、資本金を1億800万円に増資
1984年	10月：資本金を7,200万円に増資 4月：YAGレーザ機器を開発、販売
1982年	2月：本社機構を野田市に移転 1月：オールデジタル設定の小型溶接電源(MF-10F)を開発、販売
1981年	10月：千葉県野田市に最新鋭工場を新設 9月：資本金を3,600万円に増資
1980年	5月：世界初、定電流タイマを開発、販売 2月：三重県四日市市に中部営業所を開設
1979年	2月：資本金を1,200万円に増資
1974年	12月：資本金を600万円に増資 6月：一体型(MS型)、コンデンサ式(MC型)、三相整流式(MP型)溶接 電源を開発、販売
1973年	2月：世界初、デジタル式演算型溶接用計測器(MM-202,301)を開発、 販売
1972年	2月：東京都荒川区に資本金150万円で宮地電子株式会社を設立

